

建て主の方、施工業者の方へ

欠陥住宅予防検査実施に伴う確認とお願い

家づくり援護会の欠陥住宅予防検査の実施に伴い下記事項をご確認いただき、スムーズな検査実施に向けご協力のほどよろしくをお願いいたします。検査にあたり当会検査員が建設中の現場に立入ることを予めご了承ください。

- ① 検査実施にあたり施工業者より下記図面をご用意いただくようお願いします。

・在来工法(軸組工法)の場合

付近見取り図(案内図)・配置図・平面図・立面図・矩計(かなばかり)図・基礎伏図・土台伏図・床伏図・小屋伏図・屋根伏図・金物位置図・仕様書などです。
土台伏図・床伏図・小屋伏図・屋根伏図は「プレカット図」でも代用できます。

・2×4工法(枠組壁工法)の場合

付近見取り図(案内図)・配置図・平面図・立面図・矩計(かなばかり)図・基礎伏図・土台伏図・床伏図・小屋伏図・屋根伏図・縦枠(スタッド)図・金物位置図(縦枠図記載の場合は不要)・耐力壁線図・仕様書などです。

- ・施工業者によって名称が異なりますのでご確認ください。
- ・その他工法の場合は当会検査員にご相談ください。

- ② 上記図面は第1回検査日の7日前までに写しを当会検査員へご郵送いただくか、メールによりPDFデータをご送信ください(ご郵送先やメールアドレス情報は当会検査員よりご連絡致します)。

- ③ 検査当日は建て主および施工業者の立ち会いが必要になります。建て主がどうしても立ち会いが出来ない場合に備え、別途委任状(所定)をご提出ください。業務委託申込書と合わせてご提出ください。

- ④ 検査日は現場工程優先で設定出来るよう調整しておりますが、急なご依頼ですと対応が困難となります。出来るだけ早めの日程決定をお願いいたします。

- ⑤ 検査は下記のタイミングで行います。工程の調整をお願いいたします

・在来工法(軸組工法)の場合

第1回目:基礎配筋検査

- ・基礎の鉄筋の組み方を確認

第2回目:基礎立上り型枠及びアンカーボルト検査

- ・立上り部分のかぶり厚さやアンカーボルト位置を確認

第3回目:上棟検査(金物設置完了時)

- ・上棟後、柱頭柱脚金物や床梁受け金物などの設置状況、外部構造用合板張り状況の確認

第4回目:雨仕舞検査

- ・バルコニー防水や雨仕舞い箇所(外壁下地防水シート張り、外壁貫通管周り防水処理など)、通気胴縁の施工状況の確認
- ・断熱材設置が後日となる場合は別途オプション検査(有料)での対応が出来ます。費用は担当検査員にお問い合わせください。

=以下は引き渡し後の検査=

第5回目:稼動検査(入居後3~6ヶ月後)

・床下など確認

・2×4工法(枠組壁工法)の場合

第1回目:基礎配筋検査

・基礎の鉄筋の組み方を確認

第2回目:基礎立上り型枠及びアンカーボルト検査

・立上り部分のかぶり厚さやアンカーボルト位置を確認

第3回目:1階床根太土台検査

・土台の設置状況の確認

第4回目:上棟後検査(金物設置完了時)

・上棟後、柱頭柱脚金物や床梁受け金物などの設置状況、外部構造用合板張り状況の確認

第5回目:雨仕舞検査

・バルコニー防水や雨仕舞い箇所(外壁下地防水シート張り、外壁貫通管周り防水処理など)、通気胴縁の施工状況の確認

・断熱材設置が後日となる場合は別途オプション検査(有料)での対応が出来ます。費用は担当検査員にお問い合わせください。

第6回目:内部耐力壁検査

・建物内部壁の石膏ボード張りの施工状況の確認

=以下は引き渡し後の検査=

第7回目:稼動検査(入居後3~6ヶ月後)

・床下など確認

上記以外に下記の工程がある場合は別途オプション検査(有料)を実施します。

深基礎、気密、吹き付け断熱材、その他

⑥ 検査による指摘事項は当日建て主及び施工業者にご報告いたします。

⑦ 施工業者の方へのお願い

指摘事項に関しては、当日その場で是正していただくか、後日は正箇所を写真にて建て主にご提出してください。その場で是正でもお時間が掛かる場合は後日写真ご提出をお願いします。

⑧ 重大な指摘事項があった場合は再検査になります。また建て主のご要望がある時は是正箇所について再検査を実施することも出来ます。別途オプション検査費用が掛かりますのでご了承ください。(5,000円税別/時間+交通費実費)。

ご質問がある方はこちらにご連絡ください。

NPO 法人家づくり援護会

事務局 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-3-1-602

TEL03-3405-1358

<https://www.iengo.ne.jp>

Email:info@iengo.ne.jp

iengo

